

# 今津赤だより

VOL. 18

2013年秋号

## 目 次

脳卒中(脳梗塞、脳出血など)のリハビリテーションについて	1
リハビリテーションの紹介	2
ナースのまど	3
日赤福岡県支部管内災害 救護基礎訓練を終えて	4
次世代型 特殊栄養食品	5
第2回 連携先リレー紹介	6
OB/OGだより・インフォメーション	



## \* 病院理念 \*

\* 基本理念 私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います。

\* 基本方針 1. 地域医療

地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。

2. 全人的医療

病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。

3. 医療と福祉の架け橋

医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくためのお手伝いをする医療福祉センターを目指します。



今津赤十字病院

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 脳卒中(脳梗塞、脳出血など)のリハビリテーションについて

脳卒中には、ならないのが良いのはもちろんですが、不幸にも脳卒中になってしまっても、やらなければならぬ大切なことがあります。また、どのような原因で脳卒中になったのかをしつかり検査することは、再発しないようにするために重要です。そして、出来るだけ、その原因を減らすように、生活習慣病などを治療することが大切なのです。



しかし、今回は、再発予防ではなく、脳卒中後のリハビリテーションについて書こうと思います。

副院長  
おまえつよし  
**尾前豪**

脳卒中とは、脳に血液を運ぶ血管の病気で、損傷した脳の部位によって様々な障害が生じます。代表的なものは、同じ側の手足が動かなくなる片麻痺といわれるものですが、それ以外にも多様な障害があり、同じ障害が生じることはないと思えるほどです。それぞれの患者さんの障害を正確に把握し、どのような方法で機能回復を目指すのかを考え、リハビリテーションを行います。

残念ながら、現代医学では損傷した脳組織を元のように回復させることは不可能で、一度失った脳組織を元のように復活させることは出来ません。しかしながら、人間の脳には、通常使われていない能力があり、リハビリテーションを行うことで、出来なかつたことが再び出来るようになることもあります。珍しくはありません。また、重度の麻痺などが後遺症として残った場合でも、いろいろ工夫したり、残された運動能力を使うことによって、出来なくなつたことが出来るようになることもあります。このように障害の種類、程度、目標などを患者さんひとりひとりにあわせたりハビリテーションを行っていくことが大切です。

また、大きな目標の一つに自宅への退院がありますが、自宅の様子を把握しなければ、患者さんにあつた家庭生活を目標としたリハビリテーションを行うことが出来ません。よつて可能な限り、患者さんと共に家庭訪問を行つて指導方法の検討や、手摺などの設置に関する助言なども行っています。

この様に、リハビリテーションは、ひとりひとりの患者さんにあわせて行っています。





# リハビリテーションの紹介

～脳卒中のリハビリテーション～

脳卒中による障害は、認知障害・手足の麻痺・飲み込みの障害（嚥下機能障害）・痺れや痛みなどの感覚障害・血圧などの調節をする神経の問題（自律神経障害）など極めて多種多様です。

これらの障害が生じた方でも、自立した日常生活を送れるようにアプローチすることがリハビリテーションです。脳の障害部位によってさまざまな症状が組み合わさって出現するため、症状が全く同じ患者さまはほとんどいません。その為、患者さま一人ひとりの目標に向けたオーダーメイドの治療プログラムが必要となります。



理学療法士  
これ なが ち あき  
**是永千晶**

## リハビリテーションの流れ

発症してなるべく早期にリハビリを始めることが大切なポイントです。少しずつ体を起こし、座る練習や立つ練習から始めていきます。その後は少しずつ運動量を増やし、日常生活が自立できるように着替えやトイレ、歩行の練習をします。

また、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士がそれぞれの分野で専門的にリハビリを行っていきます。自宅など退院後の環境に合わせてみんなで目標を設定し、それに向けてさまざまな練習を行います。

### 実際のリハビリテーションの様子



ボール投げでバランス練習



歩く練習



お風呂の練習



読み書きの練習



趣味や余暇活動を充実させるために園芸や盆栽も取り入れています。

## 退院前の家屋調査

退院前には実際にリハビリのスタッフやケアマネージャーがご自宅を訪問させていただき、手すりの設置などのアドバイスを行い、安全に退院できるようサポートしています。

また、実際にご自宅を見せていただくことで、より明確に退院後のイメージができ、退院後の生活に合わせた練習を行うことができます。



トイレに手すりの設置を…



ここに手すりがあった方がいいですね



このベッドの高さから立つ練習が必要かな…



# ナースのまど



## ～ふれ合い看護体験～



21世紀の高齢社会を支えていくためには、「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」の3つの心を、育み、分かち合うことが必要になることから、近代看護を築いたナインゲールが生まれた5月12日を、「看護の日」と制定しました。「看護の日」から1週間の「看護週間」には、日本看護協会を中心に全国で様々なイベントが開催されます。

当院でも看護週間中、玄関にあるナインゲール像に献花し、県内の高校生の参加による「ふれあい看護体験」を毎年行っています。「ふれあい看護体験」とは、『市民のために保健医療福祉施設がドアを開き、見学や簡単な看護体験、関係者との交流などを行うイベントです。』(日本看護協会)

今年も5月17日の「ふれあい看護体験」に6名の高校生に参加していただきました。白衣を着てナースキャップを付け、デイケアや病棟で、患者さまと一緒に創作活動をしたり、足浴や食事介助を見学するなどの看護体験をしました。また他職種の協力を得て、病院食の試食、レントゲン室や検査室、薬局、リハビリ室の見学も行いました。

「制服が着やすく動きやすかった」「看護師の患者さまへの接し方で、笑顔に変わった事が印象に残った」「食事の体験では抵抗があったが、介助しやすく工夫されていることが分かった」「患者さまにあわせて食事介助しているのがすごいなと思った」など、うれしい感想をいただきました。看護スタッフも、高校生の姿に「3つの心」を改めて感じる機会にもなったようです。

地域の高齢者医療を担うという当院の役割から、このようなイベントを通して、その趣旨である「21世紀の高齢社会を支えていく」人材育成のためにも、看護の魅力を伝えていきたいと思います。



参加校：県立糸島高校・市立福岡西陵高校  
市立福岡女子高校・私立八女学院高校

# 日赤福岡県支部管内災害救護基礎訓練を終えて



平成25年6月13日、14日の二日間に渡り、日赤福岡県支部管内災害救護基礎訓練に主事(事務的役割の者)として参加しました。初日は、赤十字の災害救護活動の法的根拠及び範囲並びに職種別(医師・看護師・主事)に分かれ、救護班要員の役割についての基礎的な知識の習得に努めました。



主事  
あづま  
東 賢三  
けん こうぞう

また、無線機を使用した情報伝達や備品等の使用方法についての実技を行い、主事の在り方についての認識を深めました。実地訓練では、基礎行動や救護テントを利用した応急救護所の設営等を行い、救護にあたるまでの一連の流れを想定した取り組みを行いました。

その後、一日を通して行われた訓練での反省点をグループワークでフィードバックし、限られたスペースの中で必要な、救護に使用する資器材や救護員をどのように配置するか、役割を分担して無駄なく救護にあたる最善の方法は何か、ということが主な内容でした。

二日目には、実際の救護活動で行う傷病者の観察やけがの手当ての仕方を学びました。午後からは総合訓練を行い、JRC加盟校である吉木小学校の児童の皆さんに御協力をいただき、早速この二日間で学んだ知識や技術を試す機会となりました。実際に始まってみると、救護班員で何度も役割の確認や、場面の想定をしていたにも関わらず、次々に搬送されてくる傷病者に対応しきれず、お互いに声を掛け合い協力するということが不十分であったように思えました。しかし、訓練開始直後に救護テントのエアーが漏れ、不測の事態が起こった時、救護員全員で落ち着いて対応することができたことに関しては、「私たちは施設は違えども、同じ志を持った赤十字の一員なのだな。」と実感することができました。

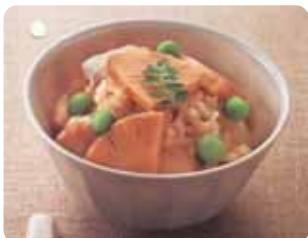
災害時には、予測のできないあらゆる環境下において、医療従事者は傷病者に対し円滑な医療を提供する必要があります。そこで、主事は何を考え、どのような行動に移さなければならないのかということを今回の訓練を通して学ぶことができました。

実際に災害が発生してしまったときに、赤十字の一員として一人でも多くの人々を救うことができるよう、訓練で学んだ点、反省した点を活かして日々精進していきたいと思います。



# 次世代型 特殊栄養食品

～「食べる歓び」を支援したい～



筍ごはん



サバの味噌煮



今津赤十字病院 栄養係長

おおにしれいこ

大西玲子



エビチリ



筑前煮



肉じゃが



ハンバーグ



グリルドビーフ

5月から特別メニュー(1食 550円)の提供を始めました。

噛む力や飲み込む力、消化する力が低下した「刻み食」「ミキサー食」の方が対象の特別なお料理です。見た目もおいしさも通常の料理と同じですが、肉や野菜の形を保ちながら、舌で自然にくずせるやわらかさです。

これは、最新の酵素処理技術と調理加工技術が駆使された画期的な商品で、いま栄養関連業界で最も注目されている次世代型特殊栄養食品です。

味とともに、「見た目でお食事を味わいたい」と希望される方と、「限られた時間だから、なおさら食事を愉しんでほしい」というご家族の願いに少しでもお応えしたくて、メニューの導入を始めました。特殊な技術で材料費が高価なため、通常の給食費の中では提供できません。そのため、材料実費を追加負担していただいているが、患者さまやスタッフからはとても好評でメニューの数も増やしました。食欲をそそられ、食べてみたい料理がたくさんあります。

今後少しずつメニューの入れ替えなどもしていく予定です。

興味のある方、また試してみたいという方がいらっしゃいましたら、詳しい説明をいたしますので、お気軽に外来または訪問看護ステーションにお尋ねください。

# 第2回 連携先リレー紹介

当院では、地域貢献として、地域にある介護保険施設との連携を大切にしています。このコーナーでは、リレー方式で各施設の方に登場していただき、連携について語っていただきます。第2回目は、福岡市にあります介護老人保健施設春風さん、特別養護老人ホーム寿生苑さんです。

## 介護老人保健施設春風の紹介

春風 施設長 竹下 岩男 様

春風は福岡市の西区と糸島の境にあたる飯氏という所に立地しています。周囲は緑に囲まれ、利用者様にとってはとても過ごしやすい環境にあります。

施設の特徴として、認知症専門棟があり50名の方に入所して頂く事が出来ます。認知症ケアを実践していくためには、介護・医療双方の適切な連携が必要不可欠です。今津赤十字病院とは協力病院として、利用者様の紹介や受け入れについて日頃より連携を図らせて頂いています。

2025年には認知症の方が300万人を超える事が予想されています。認知症の方の生活を支えていくためにも、介護と医療との連携はこれまで以上に重要になってきます。今後もよりよい関係を築いていきたいと考えています。



施設外観

## 特別養護老人ホーム寿生苑の紹介

寿生苑 施設長 朝野 愛子 様

今山遺跡で有名な今山を東側にのぞみ、江の口川のほとりに位置している高齢者介護の複合施設です。

特養(入所) 定員80名、短期入所(ショートステイ) 定員6名  
デイサービス(通い) 定員35名、生活支援ハウス 定員9名  
居宅介護支援事業所、訪問介護ステーション等の事業所があります。  
「ご利用者様がずっと過ごしたいと願い、職員が笑顔で活き活きと働ける場所」を目指し、施設でも自宅でもご家族や友人、職員と共にご利用者様お一人おひとりの暮らし、思いを支えて行けるよう心がけてあります。

また、地域との交流を大切にし、地域の皆様や行政、他事業所と一緒に安心して暮らせる街づくりに貢献できるよう活動していきます!!

お気軽にご相談下さい。優しく、丁寧に対応いたします!!



施設外観



先日訪問されました、当院元事務部長 大岡 隼人 様が詠まれた、こころあたたまる短歌を掲載させていただきました。

仕事終え譜曲学びし帰り道  
夏の燈かほる空腹おぼゆ  
わが庭に咲ける白菊花見つゝ  
青春の日々なつかしく想ふ  
日向ぼこ妻いるだけでありがとう  
小春日和に老いて仲よし

## 【インフォメーション】

九州中央病院広報誌  
きなざっせ「第58号」の連携病院のご紹介欄に当院を紹介いただきました。  
この場をかりまして厚くお礼申し上げます。



## 診療案内

- ◆診療科目／内科・精神科(認知症)・神経内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科・放射線科
- ◆受付時間／(月曜日～金曜日)午前8時30分～午前11時30分及び午後1時30分～午後3時30分
- ◆休診日／土曜・日曜・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ※ご不明な点がございましたら、お気軽に病院までお問い合わせください。

## 今津赤十字病院 外来診療担当表

平成25年10月1日より

診療科目		月	火	水	木	金	土	日
内科	午前	初診 森 佐保	尾前／森	関 拓紀	九州大学(腎臓内科)	大石 絵美		
		尾前 豪	藤井 弘二	藤井 弘二	藤井 弘二(生活習慣病)	藤井 弘二		
	再診		納富 昭光	尾前 豪	大石 絵美	森 佐保		
				古瀬 正徳				
	午後(初診及び再診)	古瀬 正徳	大石 絵美	関 拓紀	九州大学(腎臓内科)	尾前 豪		
精神科	午前 (再診のみ)	田中 和宏	坂元 亮太	勝治 一夫	田中 和宏	坂元 亮太		
	午後 認知症外来 (新患・予約制)	田中 和宏	田中 和宏	田中／勝治	田中 和宏	田中 和宏		
		坂元 亮太	坂元 亮太	坂元 亮太		坂元 亮太		
							デイケア のみ	デイケア のみ

## 交通アクセス

### ◆JRでのアクセス

- JR九大学研都市駅下車の場合  
JR九大学研都市駅南口前より病院無料送迎バスをご利用ください。  
(下記時刻表を参照ください)

- JR今宿駅下車の場合  
昭和バス「今宿駅前」バス停より、「西の浦行き」乗車、「日赤入口」バス停下車、徒歩10分

### ◆お車でのアクセス

- 西九州自動車道今宿ICより約10分



## 無料送迎バス

- ◆送迎時刻表／ JR九大学研都市駅南口前より、無料送迎バスを運行しておりますので、お気軽にご利用ください。

便	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
病院→JR九大学研都市駅南口前	8:55	9:35	10:15	10:55	11:30	12:15	12:55	13:35	14:15	14:55
JR九大学研都市駅南口前→病院	9:15	9:55	10:35	11:15	11:55	12:35	13:15	13:55	14:35	15:15
運行日	平 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土日祝祭日	—	○	○	○	○	—	—	○	—

※平成24年1月4日改正



JR九大学研都市駅南口前です。



今津赤十字病院

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

〒819-0165 福岡市西区今津377番地  
TEL(092)806-2111(代表) FAX(092)806-2314  
ホームページ <http://www.fukuoka.jrc.or.jp/imazu/>

広報誌／今津日赤だよりvol.18

発行日／平成25年9月26日

発行責任者／藤井 弘二

編集委員長／西藤 彰信

発行／今津赤十字病院



表紙写真／ボランティアに来られた福岡女子高校生の作品